

第3次一関市協働推進計画（案）に対する意見の概要及び意見に対する考え方

パブリックコメント募集期間：令和6年2月6日（火）から令和6年2月20日（火）まで

ご意見数：3件（1人）

番号	ページ	項目	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	17	市職員の意識高揚	取り組み主体が市になっているが、市内部での研修で完結するのではなく協働の現場や苦労を知る意味でも協働体などにも関わってもらい協働の必要性や理解を高める工夫をするのはいかがか？	市職員が地域協働体の現状などについて知ることは、業務上必要と考えております。 ご意見いただいた内容については、研修内容を検討する際の参考とさせていただきます。
2	19	市政への参画	パブリックコメントの仕方を工夫し、市民が市政を理解し、参加のしやすさを図ります。 6年度7年度 検討 8年度から実施 ※パブリックコメントの募集について、素案が掲載されているだけで、市民としては、何がどう変わるか分かりにくく意見しにくいいため、要約版で、「ここが課題だから、新しい計画では、こう取り組む」という分かりやすさがあると良い。	パブリックコメントの方法については、計画等の素案に加え、概要版などの分かりやすい資料を用いるなど、市民が市政に参画しやすくなるよう、努めてまいります。 また、パブリックコメントによる市政への参画については、まちづくりスタッフバンクへの登録と同様に地域の人材育成に繋がる取組であることから、主要な施策・事業の「市政への参画」の内容に追加しました。
3	19	職員研修の実施	行政と地域協働体等が連携し、一関市協働研修のプログラムを作成し、より協働の必要性が理解できるような内容にすることが望ましいです。 6年度7年度で検討 8年度から実施できるといいです。	協働の研修プログラムについては、市民意識の醸成や市職員の意識高揚を進めていく上で必要なものと捉えております。 ご意見いただいた内容については、今後の研修の内容を検討する際の参考とさせていただきます。